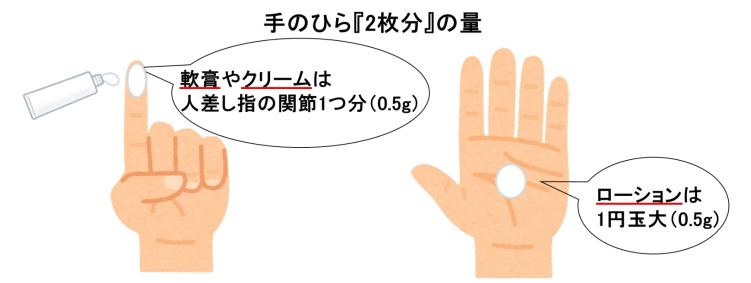
皮膚障害のマネジメント(EGFR チロシンキナーゼ阻害薬)

外用薬の塗布量

外用薬(軟膏)の塗る量を表す単位としてFTU(フィンガーチップユニット)が使用されています。 1FTU(約0.5g):大人の手のひら2枚分の面積(体表面積の約2%)に塗るのに適した分量の目安



外用薬の塗る順番(当院での基本の対応です)

保湿剤・ステロイド剤を使用

保湿剤ステロイド剤

ステロイドの塗布部位、塗布方法(当院での基本の対応です)

部位	通常	重篤化した場合
頭皮	ストロング(リンデロン V ローション)	ストロンゲスト(デルモベートスカルプローション)
顏面	ミディアム(ロコイドクリーム)	ベリーストロング(アンテベート軟膏) ストロンゲスト(デルモベート軟膏)
体幹•爪	ベリーストロング(アンテベート軟膏)	ストロンゲスト(デルモベート軟膏)

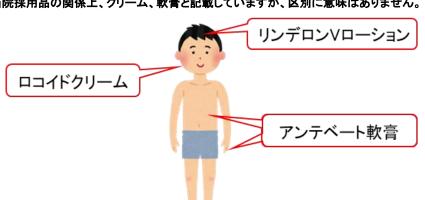
* 当院採用品の関係上、クリーム、軟膏と記載していますが、区別に意味はありません。

〇塗布回数

原則1日2回

○塗布の仕方

ゴシゴシ強くすりこむと、皮膚を傷つけ バリア機能を低下させることになります。 やさしく塗り広げましょう



〇使用量の目安

部位	1 回使用量	1 週間の使用量 (1 日 1 回塗布の場合)	軟膏・クリームの場合	ローションの場合
顔•首	約 1g	約 7g	1~2本	1 瓶
胸・腹 背中を含む	約 7g	約 49g	10 本	5 瓶
両腕	約 3g	約 21g	4~5 本	2~3 瓶
両手	約 1g	約 7g	1~2本	1 瓶
両脚	約 6g	約 42g	8~9本	4~5 瓶
両脚	約 2g	約 14g	3 本	1~2 瓶
全身塗布時 合計	約 20g	約 140g	28 本	14 瓶

ミノサイクリン内服

テトラサイクリン系抗生物質は、抗菌作用以外に、白血球遊走抑制、活性酸素の抑制、炎症性サイトカインの抑制、 T細胞機能抑制といった抗炎症作用を示すとされています。

海外の STEEP¹⁾試験において、パニツムマブ(抗 EGFR 抗体薬)の投与前日から予防治療(毎日起床時に皮膚保 湿剤、外出時に日焼け止め、毎日就寝時にステロイド剤[外用]を塗布およびドキシサイクリン 100mg を 1 日 2 回) を行った群では、皮膚障害の発現後に治療を行った群に比べて Grade2 以上の皮膚障害が低下するという報告が あります。

当院では、重篤化した場合には、ミノサイクリン(100~200mg、分 1~2)の内服を行う場合があります。

- 1) Lacouture ME, et al.: J Clin Oncol. 28(8): 1351-1357, 2010
- * 重篤化して難治性の場合は、休薬・減量を行い、皮膚科受診を行う場合があります。

院内採用のステロイド外用剤(採用が変更になる場合もあります)

強さ	商品名	外観	備考
	デルモベート軟膏	ClavoSmithdine 5g 「ラルドベート放荷0.05%」 「カルドベート放荷0.05%」 「カルドベートな荷0.05%」 「Particular Management Particular Manageme	顔や陰部への使用は避ける (医師の指示がある場合はのぞく)
ストロンゲスト	デルモベートスカルプ ローション	10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	通常、頭部に使用
ベリー ストロング	アンテベート軟膏	が利用的な資本ルセン相 ボファート・飲 売らの35 配成 11(中・ウッドンが開まえアルプロビオン報	
	リンデロン VG 軟膏	Se VG W奈の12年 M ST	ゲンタシン(抗生物質)が含まれます
	リンデロン VG クリーム	5g VG フリーム	ゲンタシン(抗生物質)が含まれます
ストロング	リンデロン V ローション	AND THE STATE OF T	
	メサデルムクリーム	おおお客を集中からご然 [mgg] から サインドル・ファーム 0.1% 59 時間 10 日本 10	
ミディアム	キンダベート軟膏	10g キンダベート軟膏0.05% Ninestrape(Ante-2)M O.05% O.05%	
\1\D	ロコイドクリーム	9月期制質放賃ホルモン用 10g 9月期制度放賃ホルモン用 10g 10g LFCコルチンと確認エステル 1mg	
ウィーク	オイラックス Η クリーム	オイラックス Hワッーム クロタミトンロの。clon (本) (条分) Li中 クロタミトンロの。clon (本) (条分 Lip コートデンスとから (本) (の20公会 を) (の2	鎮痒薬が含まれます